

モニタリング結果報告書

施設 境川遊水地公園
指定管理者 公益財団法人神奈川県公園協会
施設所管課 藤沢土木事務所

(平成 23 年度 下半期)

管理運営状況総括

1 今期の指定管理者の管理運営状況 (2～10の結果を踏まえ、判定してください)

A

<判定理由>

遊水機能を確保し、施設の魅力向上のため、これまでの自然観察会等を実施した経験等を生かしつつ、創意工夫して利用促進に繋がる取り組みを積極的に実施し、ラジオ、新聞等、様々な媒体を活用して広報活動などにも積極的に取り組んでいる。

また、経費の節減等により、良好な収支状況にあること、利用者満足度調査結果や事故の対応状況も特に問題がないことからA判定とした。

A：提案を上回る取り組みを実施し、極めて良好な管理運営状況である。

B：提案どおりに取り組みを実施し、良好な管理運営状況である。

C：提案どおりに取り組みを実施したが、管理運営状況については、一部工夫が必要な面がある。

D：提案どおりに取り組みを実施していない。また、提案どおりに取り組みを実施したが、管理運営状況については、抜本的な改善が必要である。

2 月例報告書によるモニタリングの概況

報告月	受理日	確認通知日	確認方法			指導等の有無	備考(指導事項等)
			月報確認	現場確認	電話確認		
10	11. 10	11. 30	○	○	○	なし	特になし
11	12. 12	12. 27	○	○	○	なし	特になし
12	1. 10	1. 27	○	○	○	なし	特になし
1	2. 10	2. 29	○	○	○	なし	特になし
2	3. 12	3. 30	○	○	○	なし	特になし
3	4. 10	5. 1	○	○	○	なし	特になし

3 指定管理者が提案した取り組み等の実施状況

指定管理者の選定に際して、サービスの向上や利用促進の観点から提案された各取り組み等について、提案内容の要旨とそれに対応する形で実績又は今後の見込みを記載する。

<提案内容の概要>

ボランティア団体をはじめとする地域・関係機関との連携。

・みどり、環境の保全と創造の普及啓発を図ることを目的としたイベント

- ①ビオトープ管理作業
(協力：NPO 法人ゆめたま、日本大学造園緑地学研究室、
境川自然観察会たましぎ 等)
- ②藤沢市ビオトープ管理者養成講座
(日本大学生物資源科学部、(株)グラック、アゴラ造園(株))
- ③慶応義塾湘南藤沢中等部 地学野外学習
(慶応義塾湘南藤沢中等部)
- ④草原でバッタを見つけよう
(あおぞら自然共育舎)
- ⑤境川遊水地公園バードウォッチング
(境川自然観察会)

<実施状況>

10月15日	藤沢市ビオトープ管理者要請講座(上級編)	参加人数 60人
18日	コスモスの花摘み	参加人数 183人
11月16日	地層の学習(下福田小学校)	参加人数 103人
11月20日		
～12月18日	特別展の地域連携による生物調査	参加人数 1,176人
12月07日	川の水のはたらき理科学習	参加人数 116人
13日	地学野外学習	参加人数 173人
1月16日		
～1月31日	かながわ街路樹フォトコンテスト入選写真展	参加人数 587人
1月15日		
～1月28日	相模風特別展示	参加人数 514人
1月29日	新春ふれあいフェスタ	参加人数 1,026人
1月07日		
～3月26日	バードカービング教室作品展	参加人数 2,278人

4 収支状況（単位：千円）注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しません。

	収 入 額				支出額	収支差額
	収入合計	指定管理料	利用料金	その他収入		
年間予算額 今期 (前期)	79,571 (72,000)	79,571 (72,000)	0 (0)	0 (0)	79,571 (72,000)	0 (0)
下半期予算 額	39,433	39,433	0	0	39,433	0
10月	7,850	7,850	0	0	7,448	401
11月	6,578	6,578	0	0	6,761	△183
12月	7,783	7,783	0	0	7,381	401
1月	5,416	5,416	0	0	5,716	△300
2月	6,017	6,017	0	0	6,769	△752
3月	5,789	5,789	0	0	7,362	△1,573
今年度 半期計	39,433	39,433	0	0	41,439	△2,006
前年度 同期計	29,962	29,962	0	0	36,472	△6,510

- 1 指定管理者の収入を記載する（県の収入である「使用料」は含まない）。
 2 「その他収入」は、都市公園の駐車場収入、雑収入、寄付金収入など指定管理料と利用料金以外のすべての収入を記載する。

収支状況に関する意見等

- ①年間予算額における収支差額が0でない場合は、その理由を記載する。
 ②今年度半期計欄の収支差額が、収入合計又は支出額のうち低い方の額の1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し詳細に記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。また、収支差額に1割以上プラスが生じた主な理由が、人件費の削減である場合は、年度協定における人員配置計画と比較し、合理性が認められるか否かを記載する。
 ③今年度半期計における収入額又は支出額が前年度対比30%以上プラス又は、マイナスとなっている場合は、理由を分析し、詳細に記載する。

<意見等>

- ① 該当なし
 ② 該当なし
 ③ 多目的グラウンドの植物管理（エアレーション）及びスクリーニングについては、22年度の実施結果及び専門家の意見を参考として、上半期よりも下半期に行うことが効果的であることから、それに必要な予算を下半期に設定したこと、併せて施設の増設に伴い、草刈、清掃が必要であり、下半期に必要な経費を予算設定したことにより、対前年同期比で収入が増えています。

<参考>

本施設について県が支出した（する）修繕費等

30万円以上の修繕費等については、県が支出することと基本協定で定めている。施設の状況をよりの確に把握するため、県が支出した修繕費等についても参考に記載している。

1 県が支出した施設の修繕費等の金額及び工事内容を記載する。

2 「金額」欄は、半期ごとの総額を記載し、「工事箇所・内容」欄には、主な工事とその金額をカッコ書きで記載する。

	金額	工事箇所・内容
上半期	1,510千円	案内板設置(1,510千円)
下半期	4,430千円	グラウンド舗装・公園案内看板改修(1,980千円)、 ゴミ処理(2,450千円)
総額	5,940千円	

(今期に行った資本的な収入及び支出等の状況)

⇒該当なし

	内容	金額(千円)
収入の状況		
支出の状況		
積立等の状況		(期首)
		(期末)

収入の状況：定期預金の取り崩し、借入れによる収入があった場合等は、その旨を必ず記載する。
支出の状況：車両の購入、施設の増改築、また定期預金の積み立てを支出に含めた場合等は、その内容を必ず記載する。

積立等の状況：積立・借入れ等がある場合は、その内容（施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等）、当該期首及び期末の金額を必ず記載する。

5 利用状況

	利用者数	前年同月利用者数	前年対比増減率
10月	22,090人	20,198人	9.4%
11月	21,261人	26,706人	△20.3%
12月	15,491人	13,383人	15.8%
1月	16,324人	17,006人	△4.0%
2月	15,529人	19,142人	△18.9%
3月	18,719人	17,363人	7.8%

	目標利用者数	利用者数	前年同月利用者数	目標対比増減率	前年対比増減率
今年度上半期	—	136,026人	136,698人	—	△0.5%
今年度下半期計	—	109,414人	113,798人	—	△3.9%

利用状況に関する意見等

①今年度上（下）半期計の前年対比増減率が、1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由及び対応策を分析し記載する。（特に、理由の記載にあたっては、各月の状況を分析し、わかりやすく具体的に記載する。）

②目標利用者数を下回った場合は、その理由を記載する。

なお、目標利用者数を定めていない場合は、未記入もやむを得ないが、次回以降は記入する。

<意見等>

①、② 該当なし

6 苦情・要望等の状況

受付件数（うち施設所管課受付分）

上半期報告	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	メール	アンケート	
合計	6 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	8 (0)

7 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況

（類似の苦情や要望が多く寄せられたもの、苦情や要望をもとに対応した取組みが利用者に評価されたもの、苦情や要望のうち対応したいと考えるが、諸般の事情により対応できないものなど、特に注意すべき場合に記載する。）

分野	概要	対応状況
施設・設備	・女子トイレへ荷物かけフックの要望	フックを設置。
	・	
	・	
職員対応	・	
	・	
	・	
事業内容	・	
	・	
	・	
その他	・散歩途中、犬の糞を処理しない人を見かける。	看板等で注意喚起をしているが、見かけた際は注意する。
	・情報センター内に遊水地の絵画を展示したい	個人の絵画展示は受け付けていないが、今後、市民団体など境川をテーマにした展示受け入れ体制を整備していく。

8 事故や不祥事等の発生状況

（利用者や職員が死傷した場合、業務の実施において法令違反等による指導や処分を受けた場合及び個人情報や公金の管理等において不適切な取扱い等があった場合は、その概要と対応状況を記載する。なお、利用者の死亡事故や個人情報の流出等、重大な事故や不祥事が発生した場合は、県庁改革課に任意の様式により速やかに報告書を提出する。）

⇒該当なし

発生日	事故の概要	指定管理者の対応状況	原因・問題点 (指定管理者の課題を含む)
月 日			
月 日			
月 日			

9 随時モニタリングの実施状況

〔 事故や不祥事の発生等に伴い、施設所管課が随時モニタリングを実施した場合は、調査内容や結果を記載する。 〕

⇒該当なし

実施日 (事故発生日)	対応者等	経緯・調査内容	調査結果(指定管理者の課題の有無等を含む)
月 日 (月 日)			
月 日 (月 日)			

10 上(下)半期の所見等

〔 2～9の各項目の状況等を踏まえ、指定管理業務をより効果的・効率的に推進する観点から、反省点や改善策等を記載する。 〕

指定管理者	<p>当公園は遊水地としての機能を発揮できるように施設を保全しており、異常時は、防災マニュアルに基づいて施設利用を制限すると共に、水防体制を配備して園内全般を監視し関係機関に情報提供するなど、異常時における防災対応に取り組みました。</p> <p>当公園の利用促進を図るため、自然観察会や境川の魅力を発見するナイル川と境川と題しての研修、当園で初の持ち込みイベントとしてのバードカービング教室などを通じて、ビオトープを中心とした自然環境の保全・活動に取り組みました。</p> <p>広場や運動施設の活動を通じて健康増進が図れるように、多目的グラウンドの芝生管理や清掃、ゴミの持ち帰り運動に取り組むと共に、公園職員の資質向上のため、研修会を行いました。</p>
施設所管課	<p>当公園の維持管理業務は、公園施設の維持管理に加え、遊水地機能の確保、及び水防業務への対応も併せ持っており、特殊性を有している。こうした条件の下で、異常気象時には昼夜を問わず職員による水防体制を迅速に配備し、情報活動に当たると共に、園内に設置してある相当数の門扉の施錠対応や、放送や園内パトロールを通じての公園利用者の安全確保、運動施設等の利用制限など、水防活動業務を迅速かつ適切に行っている。併せて、遊水排出後は迅速な清掃活動により運動施設利用者への影響を最小限にしており、また遊水地への越水状況の写真展示などを通じて公園利用者への防災意識向上の取り組みにも積極的に取り組んでいる。</p> <p>また、ビオトープという公園の特性を生かした管理運営の取り組みについても、これまでの実施経験を生かしつつ、研究機関や自然観察団体と連携して、自然観察会や、除草・外来種駆除等の維持管理、展示会など、高度な知見と創意工夫により、管理やイベントを積極的に展開している。</p> <p>今後も、安全の確保に加え、公園の特殊を生かした多様なプログラムを充実し、利用者サービスの向上と利用促進を図ってみたい。</p>